

(電子メール施行)  
農 技 第 1509 号  
令和 3 年 10 月 29 日

関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

令和 3 年度病害虫発生予察特殊報 第 1 号を下記のとおり発表します。

---

## 令和 3 年度病害虫発生予察特殊報 第 1 号

- 1 病害虫名 ヨコバイ科の一種 (和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura)
- 2 発生作物 ウメ、モモ
- 3 発生地域 県内全域
- 4 発生経過

### (1) 発生確認の経緯

令和 2 年 9 月、淡路地域において一般家庭のウメの葉が白化する症状の報告があり、被害葉にはヨコバイ類が多数、寄生していた。その後、同様の症例が神戸、東播磨、北播磨、西播磨、丹波地域の一般家庭のウメ、モモでみられ、令和 3 年 10 月に北播磨地域のモモ栽培園にて同様の症例を認めた。これらのうち、神戸地域のモモで発生していたヨコバイ類の個体群は、農林水産省神戸植物防疫所により本県で未確認のヨコバイ科の一種 *Singapora shinshana* (Matsumura) と同定され、その他の地域で発生している個体群も、当所において本種であることを確認した。

### (2) 他府県での発生状況

海外では中国、台湾、韓国及び北朝鮮での分布の報告がある。

国内では沖縄県に分布することが知られていたが、令和元年に和歌山県、令和 2 年に徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、令和 3 年に栃木県、山口県、東京都から発生の報告がある。

## 5 形態及び生態

### (1) 形態

成虫の体長は 3.0～3.5mm、体色は黄緑色で複眼は黒い（写真1）。頭頂部に黒点を1つ有するのが本種の特徴である（写真2）。

### (2) 生態

国内での詳細な生態は明らかになっていないが、ウメ、モモ、スモモ、アンズ、オウトウ、ハナモモ、ハナウメ及びエドヒガンへの寄生が確認されている。海外では、この他にナシ、リンゴ等のバラ科果樹やポプラ等での被害が報告されている。

## 6 被害の特徴

成虫、幼虫とも葉を吸汁し、吸汁された葉の表側は白くカスリ状となる（写真3、4）。被害が進行すると、葉表全体が白化（写真5）し落葉する。被害葉の葉裏には脱皮殻が大量に付着していることがある（写真6）。

## 7 防除対策と注意点

### (1) 令和3年10月現在、本種に対する登録農薬はない。

本県ならびに他府県でこれまでに発生が認められた事例では、減農薬、無農薬での栽培形態が多いことから、通常の薬剤防除を行っていれば、大きな被害が発生する可能性は低いと考えられる。

### (2) これまでの他府県の発生報告では、8月以降に発生に気づく場合が多い。7月から密度が急増する可能性があるため、早期発見に努め、寄生葉は除去し、本種が外に出ないように袋等に密封するなどして処分する。

\*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

(<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222



写真1 *Singapora shinshana* の成虫

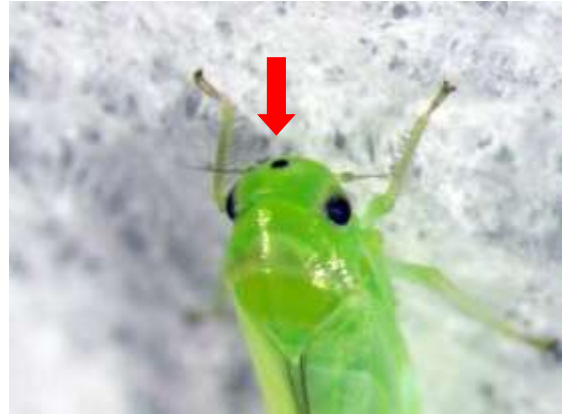


写真2 形態的特徴（頭頂部の黒点）



写真3 かすり状の被害葉（ウメ）



写真4 かすり状の被害葉（モモ）



写真5 白化の被害葉（モモ）



写真6 葉裏の脱皮殻（モモ）